



学校運営協議会だより

市川市立第四中学校
第3号
令和4年12月5日

11月21日（月）に、第3回学校運営協議会を開催し、学校運営等について協議しました。

□ 学校運営について【協議】

生徒会本部役員、専門委員長や部長の代表者と協議会委員が、学校と地域について懇談を行いました。また、今年の保護者アンケートをふまえて、校長より説明がありました。

<校長より>

- ・コロナ対策をしつつ地域の中で生徒に活動させていきたい。地域に貢献できる生徒を育成していく。
- ・コロナの影響で保護者や地域の方に校内を見ていただく機会が減っているが、学校ホームページにブログ形式で、日々の出来事載せている。家庭での話題にしてほしい。
- ・「多様性を認め合える」をキーワードに掲げ、4月から様々な取組をしている。今年度は文部科学省指定の人権教育推進校となっているので、生徒や教職員の人権チェック、他者を尊重する気持ちを育む授業など、今までの教育内容を深化させて人権意識の向上を図っている。
- ・指導力向上のために、教職員で少人数のグループに分けて校内研修を行っている。互いの授業を参観し合い切磋琢磨していけるように、今後も研修を積み重ねていく。
- ・正しい生活習慣、学力面などで課題が見られる。現状を分析し改善していく。自己肯定感を高め、自他の良いところを見られる生徒にしていきたい。

<委員からの主な意見>

- ・生徒との懇談の中で、人権チェックが自分を見直すきっかけとなっていると聞き、学校の取組が生徒の人権意識を高めていると感じた。また、集会で先生が人権に関する劇をやってくれたという話も出てきて、楽しみながら学んでいるのだと思った。
- ・生徒は「挨拶をしているが地域の方や小学生などにも積極的に挨拶できるようになりたい」と言っていた。委員会や部活単位でもっと校外に出て、地域の人と活動できたらいいと考えてくれていることがわかった。地域としては、ごみ拾い、花植えや草木の管理など、子ども会や老人会、自治会と一緒に活動してもらいたいと思っている。簡単なことでもいいので、幅広くやってほしい。
- ・正しい生活習慣を身につけるには、家庭の力が大きく影響する。食育や眠育を推進してほしい。

□ 教職員の任用に関する意見について【協議】

学校運営協議会として第四中学校に求める教職員について協議しました。協議内容をまとめ、「教職員の任用に関する意見書」を市川市に提出します。

<委員からの主な意見>

- ・部活動は、先生が異動すると活動内容や指導方法が変わる。大会等の成績に関わらず、「どう頑張れるか」に目が向けられるような指導をしてほしい。結果よりも成長過程を大切にする顧問がよい。
- ・生徒からは「挨拶をもっとできるようにしたい」との意見が出たが、シャイで奥ゆかしいのも四中生の魅力だと思う。穏やかな雰囲気のままの四中でいてほしいので、高圧的ではない指導ができる先生にきてほしい。

□ 報告・意見交換

<校長より>

- ・今まで土曜日に開催していた体験講座だが、部活動の大会日程や外部クラブチームの活動、高校の説明会日程等を考えると、開催が難しくなっている。次年度以降は平日に予定しているキャリア教育の学習活動等で地域の方にご協力いただきたい。
- ・教職員の超過勤務（残業）が課題となっている。過労死ラインの月80時間以上の超過勤務をしている教職員もいる。次年度以降、時程を変更するなどの工夫をしていく。
- ・次年度、制服や体操服のリニューアルを考えている。生徒や保護者とともに検討をしている。
- ・地域や学校の行事をコミュニティカレンダーに載せている。新しい情報があったら、知らせてほしい。（地域学校協働活動推進員より）